資料４

令和２年度実施
協働事業　中間報告

◆市民提案型協働事業

	事　業　名	パートナー	担当部署
①	「アクティブ防災」で作る、手をつなぎたくなる街平塚の防災力強化プロジェクト	NPO 法人 MAMA-PLUG	市長室 災害対策課
②	図書館におけるボランティア体験を通した不登校・ひきこもり改善・自立支援事業	NPO 法人ぜんしん	社会教育部 中央図書館
③	平塚市食品ロス削減事業並びに相対的貧困解消事業	NPO 法人 フードバンクひらつか	環境部 環境政策課

◆行政提案型協働事業

	事　業　名	パートナー	担当部署
①	平塚市生物多様性保全推進事業	ひらつか生物多様性推進協議会	環境部 環境保全課
②	着地型観光プログラムの開発とイベントの周知及び実施	ひらつか着地型観光推進委員会	産業振興部 商業観光課

令和２年９月

平　塚　市

令和２年度 協働事業 中間ヒアリング調書

2020 年　9 月　2 日

事 業 名	「アクティブ防災」で作る、手をつなぎたくなる街平塚の防災力強化プロジェクト		☐行政提案型協働事業 ☑市民提案型協働事業
団 体 名	NPO 法人ママプラグ	担当課名	災害対策課

事業の進捗状況	☐　予定どおり　　☑　遅れている 【今年度の進捗状況（事業実績等）】 コロナ対策のため、講座はすべて未実施。スケジュール配分を考え、当初今年度予定講座本数 10 本のところ 7 本に減らし、スケジュールも変更した。 初回講座は 9 月 16 日予定。変更後の講座実施スケジュールは別途資料参照。 【予算執行状況　　執行済額：　　20,507 円／予算額：　　560,251 円　】	
団体・担当課	団　体	担当課
課題 （困っていること）	コロナ禍での講座開催のため、グループワークや子連れ参加に対する対策を、慎重に相談しながら進めている。 予定外の準備品（予備マスク）やプログラム内容の変更などがあり、流動的な状況の中、臨機応変な対応が必要。	団体と同じ
課題の改善策	講座内容についてはできるだけ密にならないよう進行に工夫をしていく。 また講座内容にはコロナなどの感染症対策についても追加していく。 ☐アドバイスが欲しい	団体と同じ ☐アドバイスが欲しい
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	☑双方で実施（☑提案型　☐提案型以外） ☐団体が単独で実施 ☐行政が単独で実施 ☐今年度で休止または終了 ☐その他（　　） 今年度中止になってしまった講座も実施していきたい。また、事業終了後にも継続して子育て世帯への防災啓発ができるよう、災害対策課へ内容を残していけるようなプログラムを実施する予定。	☑双方で実施（☑提案型　☐提案型以外） ☐団体が単独で実施 ☐行政が単独で実施 ☐今年度で休止または終了 ☐その他（　　） 今年度の実績をもとに、防災講座を実施し、防災啓発を広げていく。
協働のポイント ※出来ていると思うものに☑を入れてください。	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど）	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

（令和2年度実施）協働事業　意見交換・活動記録簿

事業名	「アクティブ防災」で作る、手をつなぎたくなる街平塚の防災力強化プロジェクト

年度	月	日	場所	内容	出席者	
					団体	担当課
2	4	3		令和2年度協働事業契約書に係るメール	宮丸	増田
2	4	8		セミナー延期についてメールで打ち合わせ	宮丸	増田
2	5	16		協働事業報告会（中止）	宮丸	近藤、増田
2	6	26	4階ラウンジ	セミナー、次年度事業について打ち合わせ	宮丸	近藤、増田
2	8	12	災害対策課	セミナー、次年度事業について打ち合わせ	宮丸、橋本	近藤、増田

令和２年度 協働事業 中間ヒアリング調書

令和 2 年 9 月 2 日

事 業 名	図書館におけるボランティア体験を通した不登校･ひきこもり改善・自立支援事業		□行政提案型協働事業 ■市民提案型協働事業
団 体 名	特定非営利活動法人ぜんしん	担当課名	社会教育部中央図書館

事業の進捗状況	■　予定どおり　　□　遅れている 【今年度の進捗状況（事業実績等）】 ①図書館での作業内容の更新・追加ヒアリングの実施（5 月） ②当事者が利用する「体験者用作業マニュアル」の更新と 　団体の「スタッフ用作業マニュアル」の作成に向けた編集会議（5 月、6 月） ③マニュアル･アンケート･打合せ等の書類作成（5 月以降・順次） ④ボランティア体験をするスタッフの研修（6 月） ⑤ボランティア体験の本格実施（6 月、7 月）　※体験者人数：延べ 5 名 【予算執行状況　　執行済額：184,669 円 ／ 予算額：632,180 円　】	
団体・担当課	団　体	担当課
課題 （困っていること）	①本の修繕作業において修復手法や部材選択で一部、迷いが生じることがある。 ②新型コロナウイルス感染症対策により体験者人数の抑制やボランティア体験時間を短縮せざるを得ないこと。	新型コロナウイルス感染症対策により、対面での打ち合わせ・活動を縮小する必要があること。
課題の改善策	①修繕手法や部材の選択に不安がある場合は、市職員に質問をし、確認をする。また、質問をした修繕内容等は、スタッフ用作業マニュアルへ反映していく。 ②社会情勢を踏まえながら、体験者人数やボランティア体験時間を変更していく。 ■アドバイスが欲しい	図書館のコロナ対策について迅速な情報共有をするとともに、打ち合わせは可能な限り電話・メールで行う。また、来年度作成する動画が修繕内容についての疑問解消に役立ち、将来的に対面での確認を必要最低限にできると考えている。 □アドバイスが欲しい
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	■双方で実施（■提案型　□提案型以外） □団体が単独で実施 □行政が単独で実施 □今年度で休止または終了 □その他（　　） 各マニュアルの更新と動画の作成等を市職員と確認しながら推し進め、団体スタッフのスキルアップを図りながら、ボランティア体験の実施を継続していく。	■双方で実施（■提案型　□提案型以外） □団体が単独で実施 □行政が単独で実施 □今年度で休止または終了 □その他（　　） マニュアルを活用し、図書修理・整備ボランティア活動と、不登校・ひきこもり改善・自立支援を団体と協力して継続していく。
協働のポイント ※出来ていると思うものに☑を入れてください。	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある
意見交換の内容・その他気付いた点 （双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 当事者の若者は、本の修復等のボランティア体験を通して成果を残し、自信を得ていることが窺える。変化する社会情勢へ臨機応変に対応しながら、今後も団体と市職員で情報を共有し、マニュアル作成等を進め、当事者の自立を促していきたいと考えている。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

（令和2（2020）年度実施）協働事業　意見交換・活動記録簿

事業名	図書館におけるボランティア体験を通した不登校・ひきこもり改善・自立支援事業

年度	月	日	場所	内容	出席者	
					団体	担当課
31	4	26	中央図書館	事業提案企画検討打合せ	柳川、浅倉	小林館長、菊坂、腰越、野地、富田
1	5	18	中央図書館	事業提案に向けた話合い	柳川	菊坂
	5	30	E-Mail	「継続提案意向確認書」の確認	柳川	菊坂、腰越
	6	16	中央図書館	事業提案に向けた話合い	柳川	菊坂、腰越、野地
	7	31	E-Mail	企画提案書の提出に向けた確認	柳川	腰越
	8	1	青少年会館	事業提案内容の連絡（2019年度の進捗報告を含む）	柳川	健康・こども部 青少年課　星野
	8	7	E-Mail	企画提案書、事前意見交換(結果)確認書等の確認	柳川	腰越
	8	15	E-Mail&電話	企画提案書類一式の最終確認	柳川	腰越、野地
	8	16	協働推進課	企画提案書類の提出	柳川	協働推進課
	8	27	E-Mail&電話	事業提案書(修正版)の提出	柳川	菊坂、腰越
	8	29	E-Mail&電話	事業提案書(修正版)の確認	柳川、浅倉	菊坂
	8	29	協働推進課	事業提案書(修正版)の提出	柳川	協働推進課
	9	24	E-Mail&電話	「事前質問」の提出に向けた確認	柳川、浅倉	腰越
	9	25	E-Mail&電話	「事前質問」の提出に向け、最終確認と提出	柳川、浅倉	菊坂、腰越、 協働推進課・荒原
	9	27	中央図書館、 電話&E-Mail	事業提案プレゼンテーション当日の緊急対応相談	柳川、浅倉、甲田	菊坂、 協働推進課・荒原
	10	3	E-Mail&電話	事業提案プレゼンテーション内容・想定問答集の事前確認	柳川、甲田、浅倉	菊坂
	10	4	E-Mail	公開プレゼンテーション用データの提出	柳川	協働推進課
	10	5	市民活動センター	公開プレゼンテーション・審査会	甲田、来城	菊坂
	10	23	市民活動センター	協働事業・事業化説明会	柳川	菊坂、腰越
2	3	18	中央図書館	「協働契約書・合意によるルール」の確認	柳川、浅倉	腰越、野地
	3	27	中央図書館	「協働契約書・合意によるルール」の確認	柳川	腰越
	4	1		協働契約締結	柳川	社会教育部
	5	1	中央図書館	新年度における市・団体担当者のご挨拶および 作業内容の更新・追加ヒアリングの実施	柳川、浅倉	菊坂、腰越、野地
	5	22	中央図書館	継続提案意向確認書の提出についての確認	柳川	腰越
	6	9	リモート会議	編集会議(1回目)	柳川、浅倉、甲田、 江藤、大倉	
	6	19	市民活動センター	ボランティアを体験するスタッフ研修（1回目）	柳川、甲田、江藤	
	6	23	E-Mail	「体験者用作業マニュアル(更新版)」の送信	柳川	腰越
	6	27	中央図書館	ボランティア体験(1回目)の実施	柳川、浅倉、甲田、江藤	腰越、野地
	7	29	リモート会議	編集会議(2回目)	柳川、浅倉、甲田、 江藤、大倉	
	7	30	中央図書館	ボランティア体験(2回目)の実施	柳川、甲田、江藤	腰越
	8	29	中央図書館	中間ヒアリング調書の確認	柳川、浅倉	腰越
	9	1	中央図書館	中間ヒアリング調書の修正と確認	柳川	腰越
	9	2	中央図書館	中間ヒアリング調書の提出	柳川	菊坂、腰越、 協働推進課

令和２年度 協働事業 中間ヒアリング調書

令和２年　　８月　　19日

事 業 名	食品ロス削減事業並びに相対的貧困解消事業		□行政提案型協働事業 ■市民提案型協働事業
団 体 名	特定非営利活動法人フードバンクひらつか	担当課名	環境政策課

事業の進捗状況	□　予定どおり　　■　遅れている 【今年度の進捗状況（事業実績等）】 コロナ禍の影響により打合せの自粛が続いていたため、際立った成果は上がっておりませんが、事業者の食品ロス削減の動機づけや啓発方法等、様々なアイディアを共有させていただいています。今後の展開が期待されます。 直接お会いしての広報活動は大々的にはできませんが、個々での啓発活動においては賛同を得られており、本格的な啓発活動のスタートが待ち望まれます。アプリの打ち合わせ、企業からの寄贈品の保管庫なども徐々に進んでおります。 【予算執行状況　　執行済額：　140,000円／予算額：　4,958,507円　】	
団体・担当課	団　体	担当課
課題 （困っていること）	企業を動かす上で、金額的メリット以外でも、表彰や感謝といった功績が作用する可能性が高いと気づきました。そこにどう共同事業のメリットを活かしていけるかも成功のカギとなりえます。 また、コロナ禍であるからこそ困っている方々は多く、また、大学など多くの企業が、配布の場を喜んで受け入れてくれる現状があります。その場に食品をお届けできればコロナに影響を受けた方々に支援をお届けすることができます。食品を持つ企業とマッチングする活動は一部先行して行う必要もあるかもしれません。	ＷＥＢアプリの開発と併せて、対事業者様と団体間における覚書雛形の作成や手数料の徴収方法など、運用に当たっての細かいルールづくりを進める必要があります。
課題の改善策	表彰や感謝という手法を協働事業、市、NPO、利用者のどの名称で作成していくか。また、利用者様自らが発信してくださる感謝のお言葉を企業に届けて良いかの確認を常時行っていく。 コロナ禍の活動についてはフードバンクとして行っていることに、協働事業のアプリケーションがどのように活躍できるのか、サプライチェーンの個々にお話ししながら活躍の場を探っていく。 □アドバイスが欲しい	ＷＥＢアプリの制作会社と団体、市の三者による打合せを重ね、①参加する事業者がメリットを感じられる、②ＷＥＢアプリを活用する団体の負担感が軽減されるスキームを協議します。 □アドバイスが欲しい
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開 （事業をどのように	□双方で実施（□提案型　□提案型以外） ■団体が単独で実施 □行政が単独で実施 □今年度で休止または終了 □その他（　　）	□双方で実施（□提案型　□提案型以外） ■団体が単独で実施 □行政が単独で実施 □今年度で休止または終了 □その他（　　）

活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	コロナ禍における企業の経費削減の動きは著しく、また、一方で廃棄物のコスト高留まりは続いています。これを機に、食品ロスの削減手法の一助として、このアプリを広げていくチャンスが来ております。食品関連事業者と接触回数をどう増やしていくのか、また、食品関連事業者がコスト以外でどのような名誉、メリットを求めているのかしっかりヒアリングをして、継続的に求められる活動を作り上げていきます。	協働事業は令和３・４年度も継続実施する予定です。本事業を通じて、団体は事業者から安定的に手数料収入を得られるようになり、ＳＤＧｓや廃棄物計画等で提唱されている食品ロス削減等の取り組みを、団体ベースにおいても継続的に実施できるようになります。
協働のポイント ※出来ていると思うものに☑を入れてください。	☑目的の共有ができている □適切な役割分担になっている □十分な協議ができている □対等な立場で協働している □協働による相乗効果がある	☑目的の共有ができている □適切な役割分担になっている □十分な協議ができている □対等な立場で協働している □協働による相乗効果がある
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 現段階で求めている成果は同じであることは再確認できました。福祉的な観点と食品ロス削減の観点、団体の継続における活動費の創出と成果の持続といった、似ているようで若干のちがいのある目的も、弊害にならないよう、常に話し合いながら進めていきます。 　思うように進められないもどかしさがありますが、コロナ禍でも活動できる手法を見つけていく必要があり、今後の重要課題と考えられます。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

（令和2年度実施）協働事業　意見交換・活動記録簿

事業名	食品ロス削減事業並びに相対的貧困解消事業

年度	月	日	場所	内容	出席者	
					団体	担当課
	4	1	サンフレッセ湘南工場	共同事業の内容説明　協力要請	久松　岡田	
		2	フードバンクひらつか	事務職の職務研修	久松　大関　波多野	
		3	フードバンクひらつか	同上	久松　大関　岡田　波多野	
		8	サンフレッセ平塚工場	共同事業の内容説明　協力要請	久松　岡田	
		22	フードバンクひらつか	コロナ禍の活動について	久松　大関　岡田　瀧澤　波多野	
	5	21	サンフレッセ湘南工場	コロナ禍における廃棄品について	久松　岡田　大関	
		22	ダイトーフジテック	廃棄品の処理料金について	久松　岡田　波多野	
		25	サンフレッセ湘南工場	廃棄品の行方について、依頼主の見解と行方について	久松　岡田　大関	
	6	5	サンフレッセ湘南工場	クリームの廃棄について	久松　岡田	
		9	フードバンクひらつか	活動の再開予定について	久松　大関　岡田　瀧澤　波多野	
		17	フードバンクひらつか	訪問先食品関連事業者の設定について	久松　岡田	
		18	フードバンクひらつか	アクアリーフとの打ち合わせの調整について	久松　岡田　大関　波多野	
	7	13	サンフレッセ平塚工場	パンの廃棄とフードバンクやリサイクルの活用について	久松　岡田　大関	
		14	フードバンクひらつか	事務職の再募集について	久松　岡田　大関　瀧澤	
		15	㈱アクアリーフ	ソフト会社を交えて設計コンセプトを意見交換	久松　岡田	上家
		18	サンフレッセ平塚工場	廃棄品の保管方法の確認について	久松　岡田	
		21	フードバンクひらつか	コロナ禍の活動について	久松　大関　岡田　瀧澤	
		29	サンフレッセ平塚工場	パンのフードバンクへの譲渡量について	久松　岡田	
	8	4	フードバンクひらつか	事務職の職務研修	久松　岡田　大関　瀧澤　林	
		7	市役所	進捗状況を確認	大関	上家

令和２年度 協働事業 中間ヒアリング調書

令和２年８月３１日

事 業 名	平塚市生物多様性保全推進事業		☑行政提案型協働事業 ☐市民提案型協働事業
団 体 名	ひらつか生物多様性推進協議会	担当課名	環境保全課

事業の進捗状況	☐　予定どおり　　■　遅れている 【今年度の進捗状況（事業実績等）】 　新型コロナウイルス感染症の影響により、４月・５月の調査活動が行えず、併せて６月に実施予定だった啓発事業も中止となったため、計画に一部遅れがあります。 　現在は、感染症対策をしつつの調査事業を実施、９月には啓発事業を実施する予定です。 【予算執行状況　　執行済額：61,420 円／予算額：3,960,000 円　】	
団体・担当課	団　体	担当課
課題 （困っていること）	・４月・５月の調査が行えず、次年度へ持越しとなり、令和２年度分（水域）報告書作成に支障が出る可能性がある。 ・啓発事業を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策の必要があり、積極的な勧誘がしづらい。	・令和3年度に作成する、自然環境評価書の具体的な内容の検討が必要。 ・協働事業終了後に策定する生物多様性行動計画に対する協議会の役割の検討が必要。
課題の改善策	・報告書作成時期を令和３年度に遅らせるか、自然環境評価書に反映させるデータの取捨選択をするかなどの検討が必要。 ・啓発事業は新型コロナウイルス感染症の感染状況の先行きが見えないこともあり、臨機応変、きめ細やかな計画で対応する。 ☑アドバイスが欲しい	・調査や啓発事業と併せて、次年度に必要な作業の確認を今年度中に進める。 ・生物多様性行動計画の策定に向けて、団体メンバーの日頃の活動で感じる課題や要望を確認し、そこから役割を検討する。 ☑アドバイスが欲しい
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	☑双方で実施（☑提案型　☐提案型以外） ☐団体が単独で実施 ☐行政が単独で実施 ☐今年度で休止または終了 ☐その他（　　） 自然環境評価書を作成することにより、平塚市の自然環境が俯瞰でき、生物多様性行動計画策定に貢献できる。	☑双方で実施（☑提案型　☐提案型以外） ☐団体が単独で実施 ☐行政が単独で実施 ☐今年度で休止または終了 ☐その他（　　） 協働事業終了後の令和4年度には、環境保全課が主体となり生物多様性行動計画を策定する予定であり、その策定過程にどのように協議会が関わるのかを検討する必要がある。
協働のポイント ※出来ていると思うものに☑を入れてください。	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど）	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

（令和2年度実施）協働事業　意見交換・活動記録簿

事業名	平塚市生物多様性保全推進事業

年度	月	日	場所	内容	出席者	
					団体	担当課
2	4	2	市役所5F環境保全課	運営委員会の進行打合せ	会長	高橋・山口・三澤
2	4	7	市役所7F会議室	令和2年度第1回運営委員会	会長他6人	高橋・山口・三澤
2	4	18	電話で	令和元年度協働事業「相互」評価シート	会長	三澤
2	6	9	金目川河川敷	現地調査の同行	植物班　恒川他2人	三澤
2	6	19	書面で	生物多様性推進協議会の会計監査	柳川	三澤
2	6	26	馬入水辺の楽校付近	現地調査の同行	植物班　恒川他2人	田中
2	6	30	勤労会館	令和2年度第2回運営委員会	会長他10人	高橋・山口・三澤
2	6	30	勤労会館	令和2年度定期総会	会長他10人	高橋・山口・三澤
2	6	30	勤労会館	令和2年度第3回運営委員会	会長他10人	高橋・山口・三澤
2	8	27	金目川河川敷	現地調査の同行	魚類班　斎藤他7人	三澤
2	4	9	市内調査エリア	生物調査（4・6・7・8月の調査実績：延べ調査日数7日、延べ調査時間84時間、延べ人数39名） ※昆虫、両生・爬虫類、鳥類についても、5月以降すでに調査が実施されていますが、8月31日時点で報告のあった分を記載しました。哺乳類の調査は秋以降に実施予定です。	植物班、魚類・甲殻類班、の2班、15名 ※昆虫、両生・爬虫類、鳥類についても、5月以降すでに調査が実施されていますが、8月31日時点で報告のあった分を記載しました。哺乳類の調査は秋以降に実施予定です。	
2	6	9				
2	6	15				
2	6	26				
2	7	30				
2	8	5				
2	8	27				

令和２年度 協働事業 中間ヒアリング調書

令和２年９月２日

事 業 名	着地型観光プログラムの開発とイベントの周知及び実施		■行政提案型協働事業 □市民提案型協働事業
団 体 名	ひらつか着地型観光推進委員会	担当課名	商業観光課

事業の進捗状況	□　予定どおり　　■　遅れている 【今年度の進捗状況（事業実績等）】新型コロナウイルス感染拡大の影響で、４～５月は市と団体で打ち合わせができなかったため、当初の計画よりも２か月遅れて動いている。活動再開後、コンセプトの決定、活動を紹介する資料の作成のほか、プログラムの講師候補と会い意見交換を行っている。今後、関係者でのプレ実施を行なったりプログラム内容の磨き上げをしたりする。今年度１０プログラムを実施する予定であったが、新型コロナウイルスの収束の見込みが立たないため、参加者の安全の確保をしながら野外の活動を中心とした５プログラム程度実施する計画である。 【予算執行状況　　執行済額：０円／予算額：１，６９９，２３２円　】	
団体・担当課	団　体	担当課
課題 （困っていること）	事業を開始したばかりでまだ手探りで進めている状況である。新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、行政やプログラム実施候補者と意見交換をして、新しい着地型観光の形を模索しているところである。	・新型コロナウイルスの収束の見込みが立たないなかで事業をどのように継続するべきか。 ・当初計画していた、スケジュールや予算を変更してよいか。
課題の改善策	今後、市のシティプロモーション担当をはじめ、行政と広く協力体制を築き、コンテンツとなる地域資源についての情報や、実施についての協力、ＰＲの場、運営に関するヒントを得たい。 □アドバイスが欲しい	今年度は、野外の活動を中心としたプログラムを少人数で実施し、来年度以降につなげていく。また、新型コロナの感染拡大の状況次第では、ウェブを活用したバーチャル観光のコンテンツ作成など代替方法の検討が必要となるかもしれない。 □アドバイスが欲しい
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	■双方で実施（■提案型　□提案型以外） □団体が単独で実施 □行政が単独で実施 □今年度で休止または終了 □その他（　　） まだ、事業がスタートしたばかりなので当面はこの体制で、市と団体で協力して事業を継続していきたい。	■双方で実施（■提案型　□提案型以外） □団体が単独で実施 □行政が単独で実施 □今年度で休止または終了 □その他（　　） 市と団体で協力して事業を継続していきたい。観光協会なども巻き込んで事業の実施ができるか、今後検討していきたい。
協働のポイント ※出来ていると思うものに☑を入れてください。	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある
意見交換の内容・その他気付いた点 （双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 特になし	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

（令和2年度実施）協働事業　意見交換・活動記録簿

事業名	着地型観光プログラムの開発とイベントの周知及び実施

年度	月	日	場所	内容	出席者	
					団体	担当課
令和元年度	11	5	市民活動センター	観光資源の洗い出し、今後の進め方意見交換	7名	2名
	1	14	市民活動センター	プログラム作成に向けた平塚の強みの共有	4名	2名
	1	28	市民活動センター	プログラムのターゲット、コンセプトなどの設定	3名	1名
	2	17	市民活動センター	活動スケジュール、事業計画書の作成、役割分担共有	6名	2名
	2	25	市民活動センター	プログラム案の検討	4名	2名
	3	24	市内飲食店	協働契約書について、個人情報の取り扱いについて	4名	1名
	3	27	会員自宅	契約書の修正、収支予算書の作成	1名	0名
令和2年度	4	1	会員自宅	プログラム検討シート作成	1名	0名
	4	2	会員自宅	プログラム検討シート作成	1名	0名
	4	3	会員自宅	プログラムたたき台の検討	1名	0名
	4	5	会員自宅	スケジュールの作成	1名	0名
	4	8	会員自宅	プログラムたたき台の検討	1名	0名
	4	10	会員自宅	プログラムたたき台の検討	1名	0名
	5	16	市内	プログラム実施者協力依頼	1名	0名
	6	20	会員自宅	詳細タスクシートの作成	1名	0名
	6	23	市民活動センター	令和2年度実施プログラム決定（5プログラム） 令和3年度事業提案の考え方（方向性共有）	7名	2名
	6	27	市内	プログラム実施者調整	1名	0名
	7	10	会員自宅	事業提案書の方向性の検討	1名	0名
	7	12	市内	プログラム実施のための現地視察	1名	0名
	7	14	会員自宅	プログラムシートの作成	1名	0名
	7	14	市民活動センター	プロジェクト名の決定、事業提案書資金計画検討	7名	2名
	7	25	会員自宅	事業提案書（素案）、収支計算書作成	1名	0名
	7	27	会員自宅	購入備品の選定	1名	0名
	7	28	会員自宅	プログラム実施までの関係調整スケジュール作成	1名	0名
	7	28	市民活動センター	プログラム実施者用パンフレット作成 事業提案書（素案）共有・修正	5名	1名
	8	1	会員自宅	事業提案書作成	1名	0名
	8	3	会員自宅	事業提案書作成	1名	0名
	8	11	市民活動センター	事業提案書作成	4名	2名
	8	25	市民活動センター	各事業部からの報告を共有	5名	2名